



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

—創立 103 周年—

since 1903

The Campus News

2・3月号

2006. 第 116 号

編集発行 学園事務局

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

《2~4月の行事予定》

〈1年生〉

- 1 / 30(月)~2/3(金) 後期試験
- 2 / 6(月)~10(金) 追再試験期間
- 11(土) 建国記念の日(休校)
- 13(月)~17(金) 幼稚園実習(保幼)
- 20(月)~3/4(土) 保育園実習(保幼)

- 4 / 3(月) 刊エーション・教科書販売
- 4(火) 授業開始
- 14(金) 健康診断
- 28(金) 新1年生宿泊研修の為休講

〈2年生〉

- 1 / 30(月)~2/3(金) 後期試験
- 2 / 6(月)~10(金) 追再試験期間
- 11(土) 建国記念の日(休校)
- 3 / 7(火) 卒業式リハーサル 大ホール
- 8(水) 卒業式 10:00~ 大ホール



行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

学生生活を振り返って

保幼2C 矢作 明奈

2年間の学校生活を振り返ってみると、本当にあつという間でした。辛く苦しいこともありました。今思えば楽しかったことばかりのように感じます。その学校生活もあとわずか。もう卒業は目前です。

私がこの2年間で学んだものはたくさんありますが、その中でも1番大きいのは、多人数で1つの物事に取り組む難しさを知ったこと、そしてそれを成し遂げた時の大きな喜びです。そういった場面は、入学して間もない頃に行われた宿泊研修での新聞紙制作から始まり、日頃の授業でのグループ活動、保育研究発表会とたくさんありました。特に1年次の保育研究発表会は、今まで学校行事というものに積極的に取り組んだことのない私にとって大きな経験となりました。人数が多ければその分意見の数も増えます。皆が良いものを作ろうと考え、それぞれ意見を出し合い、それを1つの方向へ持っていくのは本当に大変なことでした。時にはぶつかり合って涙を流すこともありました。本番の時に見たクラスメイトの笑顔はとても輝いていました。学校生活を通して体験した、何かに真剣に取り組む、共に作り上げていく楽しさと難しさ、成功したときの充実感、これからの自分にとって大きな糧になると感じています。保育者として、またそうでなくとも人として、どう物事にコミットするか、人にどう接するかを学ぶことができ、成長することができたと思います。



しかし、社会に出て行くには、まだまだ学ぶべきことがたくさんあるような気がして、不安もあります。でも、それはこれから自分が現場に出て身につけていくものなのだと思います。常に学ぶ姿勢、努力を忘れず、これから出会う子ども達のためにも成長し続けていきたいと思っています。



保育研究発表会を終えて

保幼1B 菅原 貴司

こんにちは、みなさん保育研究発表会はどうでしたか？クラス40～50人という大人数で1つの物を作り上げる楽しさ・難しさ・達成感は味わえたでしょうか？

僕は、そもそも企画委員会ではなかったのですがクラスメイトに誘われ途中から企画委員に加わりました。正直はじめは保育研究発表会がどういったものなのか全く把握していませんでしたので軽はずみな返事で企画委員になることを承諾したのですが、いざ動き始めるとクラスを中心に立ち、みんなを1つのベクトルに意識を合わせ作品を作るという大変な仕事だということに気がつきました。しかしそれ以上にこんなにやりがいのある仕事は無いとすぐに思いました。なぜかという僕は去年1年間幼稚園で働いていたのですが例えば行事1つをとっても先生（中心に立つ人）が動かなければその周り（子ども達）は何をするかも分からないからです。それを自分に置き換えると実習以外にこんな素晴らしい機会は無いと思ったからです。



発表を終えてどのクラスもとても素晴らしい発表だったと思います。どのクラスも本番までの作品を作り上げるには様々な努力や思いがあったと思いますが1年生はテーマである「四季」に沿った歌・振り付け又、衣装の製作・予算・物の管理など、時には人が集まらず思うように練習が出来ない事や伝えたい事がうまく伝わらず悩んだこともあると思いますがそれら1つ1つをどう解決すれば良いのかと考えることが学びであると思います。



そして全てが重なってあの素晴らしい発表が出来たのだと思います。

この保育研究発表会を通して行事を成功させると同時にそのプロセスを自分なりに楽しみながら学び取り組めたことは自分にとってとても素晴らしい財産だし、今後就職してから必ず自分に何らかの形で返ってくると信じています。

最後にクラスのみならず、係りの人、保育研に携わった人達へありがたいの気持ちを送りたいです。お疲れ様でした。

保育研究発表会を終えて

保幼2B 佐藤 貴志

みなさん、保育研究発表会お疲れさまでした。今年度から2年生は舞台発表と展示発表が選択できるようになりましたが、私が所属する保幼2Bは、クラス全員が舞台発表を選択し、改めて保幼2Bの団結力の強さを感じる事が出来ました。しかし当初は、なかなか演目が決まりませんでした。そのため、各自が自分の推薦する演目について、プレゼンテーションを行い、「不思議の国のアリス」に決定しました。そして、そのプレゼンテーションを行った、船木くんが演出を務め、リーダーの斉藤くんとともに、クラスをまとめてくれました。二人のがんばりもあって、クラスメイトの意識も高まり、すばらしい舞台を作り上げることができました。最後の合唱では、感動のあまり、涙がこぼれそうになり、保幼2Bの仲間たちのことがさらに好きになりました。

また、私は舞台の他に展示発表で保育原理と絵本ゼミのプレゼンテーション、SPTとしては、広報委員の委員長を務めました。保育原理では、「食育」についてインターネットで基礎調査を行った上で、実際の保育園に行き、現場の保育士の先生から話を聞くなどして、原稿をまとめました。絵本ゼミでは、学生向けの絵本の読み聞かせを行い、学生のみなさんの反応を勉強させていただきました。舞台発表との両立もあって、準備不足という反省点もありますが、貴重な経験をすることができたと思っています。広報委員では今年度から近隣の幼稚園や保育園への案内状の送付という新たな仕事を取り入れました。そのおかげで、2日間共に100名を超える子どもたちが来てくれて、保育研究発表会がすごく盛り上がり、自分の仕事に誇りを感じる事ができました。今回の保育研究発表会では、自分の仕事の責任の重さに悩むこともありましたが、振り返ってみると自分が大きく成長できた期間だったと思います。



最後に、忘れてはならないのが、今回の成功の裏には、SPT委員長として全体を統括した小鍛冶博昭くんの存在です。彼のがんばりに対して全学生を代表してお礼を言わせていただきます。

1年生のみなさん、来年度は今年度よりもさらにすばらしい保育研究発表会を作り上げてください。